

②自然共生

水資源の保全

西条市地下水の保全及び管理並びに適正な利用に関する条例を基に、関係者が一体となって清浄で豊かな地下水を守り、次世代に引き継ぎます。



地下水をみんなで守ろう！

①福祉

子育て環境の充実

「伴走型相談支援」の充実を図り、妊娠届出時と出生届出後に「経済的支援」を行うことで、安心して出産や子育てができる環境を整備します。



不安や悩みを解消します

①福祉

健康づくりの推進

心や体に大きな影響を与える「笑い」の力に着目し、各種行事に笑いの要素を取り入れることで、市民の皆さんの心と体の健康づくりに努めます。



昨年度は各地域で全6回実施

②自然共生

生活環境の整備

4月から「家庭系ごみの有料化」「粗大ごみの戸別収集」「資源ごみ及び危険ごみの拠点回収」の3つの新たな取り組みを開始します。



ごみの減量・資源化にご協力を

①福祉

医療体制の充実

医療従事者へ24時間365日電話相談できる窓口を新たに設置し、速やかに必要な医療を受けることができる体制を県・20市町共同で構築します。



緊急度を医学的観点から判断

①福祉

健康づくりの推進

10月に開催予定の「ねんりんピック愛媛のえひめ2023」で健康の保持および増進を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成を目指します。



当市はサッカーと太極拳を実施

二つの方針を軸に突き進んだ1年

令和4年度は苦心を重ねながらも、市民の皆さんとともにまっしぐらに突き進むことができるよう、「NOPAIN、NOGAIN～勇往邁進～」をキャッチフレーズとして掲げ、二つの方針を柱に種々の施策に取り組んできました。

一つ目の「持続可能な西条市の実現に向けた事業の本格化」については、第2期西条市総合計画後期基本計画で掲げている「みんなで実現しよう！持続可能な西条市」の具現化に向け、SDGsとDXの融合的な取り組みを進めてきました。

二つ目の「中長期的な展望を見越した抜本的な経営改革への着手」については、市内に数多く存在する公共施設の半数以上が老朽化しており、それらの維持更新コストが漸増する中、先送りすることのできない重要な課題であると認識しています。将来世代に過度な負担が残らないよう、適正な施設再編に向けた議論を進めるとともに、限りある財源を有効的に活用し、計画的な行財政運営に努めます。

以上のような施策に加え、移住・定住施策や関係人口の創出など、当市ではこれまで全国に誇るべき取り組みを積極的に展開してきました。1月に公表された、(株)宝島社の「2023年版 住みたい田舎ベストランキング」の「若者世代が住みたい田舎部門」において、残念ながら4連覇を達成することは叶いませんでしたが、東予圏域における全体最適化の実現が着実に近づいてきていると前向きに捉えています。これからも当市の魅力度向上に努めるとともにさら

なる成果の獲得に繋げ、より多くの方々から「住んでみたい」「住み続けたい」と実感されるまちづくりを進めます。

持続可能なまちづくりに向けて一歩ずつ

これまで、西条市SDGsのキャッチフレーズである「いっしょにやろや ちよっとずつ」を合言葉に、当市独自の地域消費喚起を含め、新たな発想をもとに未来に向けてのモデル事業を積極的に推し進めています。先が見えないからと立ち止まるのではなく、熟慮断行しながらほかにはない新しい価値を当市に生み出すことができるよう、「好機を掴み、挑戦し、変革する」ことを強く意識しながら歩みを進めます。

過去から積み残されてきた課題を一足飛びに解決することはできませんが、当市が求める持続可能なまちづくりに向けて一歩ずつ確実に歩みを進めていくことができるよう、令和5年度は「Step by Step (ステップ・バイ・ステップ)」をキャッチフレーズとして掲げ、当市の将来あるべき姿を共有しながら、市民の皆さんとともに「持続可能都市西条2050」の実現に向けて着実に前進していきます。



西条市長 玉井敏久

令和5年度施政方針

施政方針の全文は▼



「持続可能都市西条2050」の実現へ

- ▼ 新年度の予算編成は、歳出改革を継続し、物価高騰などへの対応、持続可能都市西条の実現に向けた各種施策は積極的に予算措置するなど、さらなる事業の「選択」と「集中」に取り組み、予算編成を行いました。
- ① 健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり
 - ▼ 西条市がん対策推進条例に基づき、がん患者等への各種費用助成や生活習慣改善による予防促進など、引き続き市民のがん対策を推進
 - ▼ 別々のサービスとして事業展開している保健事業と介護予防事業の連携を図る
 - ▼ 民間企業やボランティアの協力を募り、新たな見守り制度へと再編
- ② 豊かな自然と共生するまちづくり
 - ▼ 「東予東部ごみ処理施設」の広域化・集約化にかかる実現可能性調査結果を基に、引き続きごみ処理施設の将来的なあり方を検討
 - ▼ 当市の地域特性に適した脱炭素の取り組みを推進
 - ▼ 船屋ポンプ場の増設工事による、安全性の確保と生活環境の改善
 - ▼ 公共下水道事業会計の経営安定化に向け、下水道計画区域の見直し

7 構想実現

時代の変化に
対応した地域づくり

試験的に運用していた電子申請プラットフォームでの申込予約やアンケート機能などの本格導入を進めます。



さらなる市民サービスの向上へ

6 産業振興

産業人材・雇用環境
西条の価値や魅力の向上

SAIJO BASE（昨年7月に開館）でヒトと暮らしと仕事が好き循環する複合施設としてさらなる深化を目指します。



SAIJO BASE（旧こどもの国）

6 産業振興

林業の振興

森林環境譲与税を財源とした森林整備基金を活用し、経営管理が行われていない森林の整備や林道の維持管理、木材利用の推進などを行います。



放置人工林の間伐を実施

5 教育文化

学校教育の充実

PFI事業で実施する（仮称）西条市東部給食センターの整備・運営にかかる事業契約を行い、あわせて配送校の配膳室整備なども進めます。



おいしい給食をいつまでも

4 安全安心

防災・減災対策の強化

「西条市地域防災計画」の見直しを行い、災害対策の充実および効果的な防災体制の構築を目指し、地域住民の自助・共助の意識を高めます。



禎瑞地区の防災ワークショップ

3 都市基盤

交通体系の整備

「西条市地域公共交通計画」の令和6年度改定を見据え、デジタルテクノロジーを用いた交通システムの構築に向けて検討を進めます。



デマンド型乗合タクシー

7 構想実現

経営感覚のある
行財政運営の実践

窓口改革の一環として、「おくやみ窓口」の本格稼働とおくやみ手続きのワンストップ化の推進に取り組みます。



13 手続きに要する時間を短縮

7 構想実現

協働のまちづくりの
推進

ソーシャルビジネス支援のほか、西条市版SIB事業などで地域社会の課題解決に取り組む事業者を支援します。



昨年、5団体でソーシャルビジネス支援に係る覚書を締結

6 産業振興

観光産業の創出

友好都市提携を締結しているベトナム・フエ市で開催される「フエ伝統工芸フェスティバル2023」で両市の友好関係をさらに深めます。

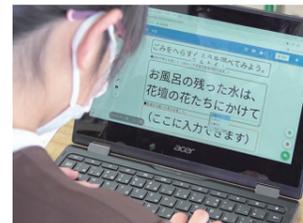


前回の様子(2019年)

5 教育文化

学校教育の充実

ICT教育の推進によるさらなる教育の質的向上と、コミュニティ・スクールの推進による地域とともに取り組む学校教育環境の構築に努めます。



一人一台タブレット端末の活用

5 教育文化

学校教育の充実

現在取り組んでいる小中学校校舎の長寿命化整備について、「大町小学校校舎」の整備完了を目指します。



整備中の大町小学校

4 安全安心

防災・減災対策の強化

東予東部圏域における消防指令システムの効率的な整備と運用を図るため、新居浜市と四国中央市と連携し、基礎調査を実施します。



西条市消防本部の指令センター

- ▼「都市計画基礎調査」を実施し、社会経済情勢の変化や地域の土地利用動向に即した計画改定となるよう調査・検討を進める
- ▼過去に浸水被害があった地区から選定した重点地区を対象に、排水施設の改修や整備
- ▼西条・神拝分団および丹原分団の蔵置所整備の実施設計などに着手
- ▼西条市人権文化のまちづくり基本計画」に基づく、人権文化の根付いた明るく住みよいまちの実現
- ▼「森林ビジョン」の策定に向け、引き続き調査を進める
- ▼「都市計画基礎調査」を実施し、社会経済情勢の変化や地域の土地利用動向に即した計画改定となるよう調査・検討を進める
- ▼過去に浸水被害があった地区から選定した重点地区を対象に、排水施設の改修や整備
- ▼西条・神拝分団および丹原分団の蔵置所整備の実施設計などに着手
- ▼「西条市人権文化のまちづくり基本計画」に基づく、人権文化の根付いた明るく住みよいまちの実現
- ▼「森林ビジョン」の策定に向け、引き続き調査を進める
- ▼事業者の経営課題や当市が持つ産業構造の強みを分析しながら、より効果的な産業振興施策を実施
- ▼エネルギーコストの削減と脱炭素化に繋がる省エネルギー化設備の導入や専門家の活用を支援し、市内事業者の経営の安定化を図る
- ▼「構想の実現に向けて」引き続き地域の状況に応じて地域自治組織設立に向けた支援
- ▼電子機器などに不慣れた高齢者でも安心してデジタル活用ができるようデジタルガイド(情報格差)対策に取り組み、「誰一人取り残さない」デジタル化社会を実現
- ▼「LOVE SAIJOプラットフォーム」を活かしたまちづくりの仕組みを構築し、「持続可能都市西条2050」の実現に向けて取り組みを進める
- ▼令和7年度以降の中長期的なまちづくりの指針となる「第3期西条市総合計画」の策定に着手
- ▼引き続き公共施設の適正配置と有効活用方法を検討
- ▼マイナンバーカードのさらなる普及促進を図り、引き続き正しい情報の発信とカード取得に係る支援を行う